

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は、2014年（公財）日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項および申し合わせ事項によって行う。

2. 競技場使用について

- (1) ウォームアップ場は、補助競技場を原則とする。砲丸投の練習については、補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみとする。
- (2) 練習は、係員の指示によって行う。
- (3) スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。また、スパイクピンの本数は原則として11本以内とする。

3. 招集について

- (1) **招集所は、第2ゲート付近（1500mスタート地点）に設ける。【今年度のみ】**
- (2) 招集開始時刻および招集完了時刻は次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技（四種競技を含む）	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技（四種競技を含む）	競技開始40分前	競技開始30分前

- (3) 招集の際、全ての用紙の氏名に丸印をつけること。招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技に出場できない。
- (4) **リレーについては、予選・決勝ともにオーダー用紙を招集完了1時間前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙は、招集所で受け取ること。**
- (5) 2種目を同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が競技者係に申し出る。2種目同時に出場する場合は、トラック競技を優先する。
- (6) やむを得ず棄権する場合は、競技者係に申し出る。

4. 競技について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。トラック競技の決勝については、主催者側が公平に抽選をし、その結果を番組編成表示板に掲示する。
- (2) トラック競技の予選はタイムレースとし、上位8名が決勝に進出することができる。ただし、低学年種目の100m以外のすべて、男女800m、男女1500m、男子3000mについては、タイムレースにより順位を決定する。なお、同記録の場合は、1000分の1秒まで比較し決勝進出者を決定する。
- (3) レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (4) トラック競技はすべて写真判定で行う。
- (5) リレー競技のマーカの使用は1カ所とする。使用したマーカはそのチームで処理する。
- (6) 短距離種目では、事故防止のため、フィニッシュ後も自分の割り当てられた走路（曲走路）を走る。
- (7) 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。新人の部の走幅跳、三段跳、砲丸投は、試技を3回行い、トップ8決定後さらに3回の試技を行う。低学年の部の走幅跳、砲丸投の試技は3回のみとする。
- (8) 競技者は、その競技をする以外は、トラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (9) 三段跳においては、踏切板から砂場までの距離を9mとする。
- (10) トラック競技におけるスタートの合図は、イングリッシュ・コマンドとする。

(11) ハードル種目の規格

種別	男子		女子	
	高さ	ハードル間	高さ	ハードル間
新人の部	0.914m	9.14m (水色)	0.762m	8.00m (黒色)
低学年の部	0.838m	8.50m (濃緑色)	0.762m	8.00m (黒色)

(12) 砲丸の重量

種別	男子		女子	
	中学	中学四種	中学	中学四種
新人の部	5.000 k g	4.000 k g	2.721 k g	2.721 k g
低学年の部	4.000 k g		2.721 k g	

5. 競技場内への入退場について

- (1) 競技場への入場はすべて係員の誘導による。
- (2) トラック競技の出場者は、フィニッシュライン到着後、係員の誘導によって退場する。
- (3) フィールド競技の出場者は係員の指示に従って退場する。

6. ゼッケンについて

- (1) ゼッケンは指定の大きさのまま文字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸背部に確実につける。ただし、跳躍競技の出場者は胸または背のいずれかにつけるだけでよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバーカードを選手招集所で受け取り、ランニングパンツ右横やや後方に取り付け、競技終了後係員に返却する。

7. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、最後の1人になるまでは次のとおりとする。

		練習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳	男	125	130	135	140	145	150	155	160	以後3cmごと
	女	115	120	125	130	135	140	143	146	以後3cmごと
四種 走高跳	男	120	125	128	131	134	137	140	143	以後3cmごと
	女	110	115	118	121	124	127	130	133	以後3cmごと
棒高跳			200	210	220	230	240	250	260	以後10cmごと

- (2) 第1位決定のために行うバーの上げ下げは、走高跳では2cm、棒高跳では5cm単位とする。

8. 競技用具について

- (1) 競技に使用する器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のポールを招集所で検査を受け、合格したものに限り使用が認められる。
- (2) 練習用としても個人の用具を競技場に持ち込んではならない。

9. 表彰について

- (1) 各種目の表彰は1～3位まで行う。
- (2) 総合の表彰は、総合得点順で1～3位の学校に行う。なお、各種目の入賞者の得点は1位8点、2位7点、3位6点、以下、5、4、3、2、1点とする。

10. その他

- (1) 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が発生した場合は、正面スタンド下の救護室に連絡すること。
- (2) 記録は競技場正面玄関前に掲示する。